

平成24年度老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)事業実施計画(概要)

事業名

認知症の初期集中支援サービスの構築に向けた基盤研究事業

事業実施目的

本研究は、認知症施策検討プロジェクトチームがまとめた「今後の施策の方向性」に基づき、認知症になっても在宅での生活の継続につながるサービス体制の整備を推進するため、認知症の人や家族に認知症初期から専門家チームが関わり、アセスメントや初期集中ケアを受けることで自立生活をサポートするシステムを構築するために必要なツールを開発し、認知症初期集中支援のサービスやケアのあり方を提示する。また、国内外のモデル実践例をとおして、ツールの妥当性を検証するための調査を実施し、早期介入モデルの現場における導入方法を検討する。

事業実施予定期間

平成24年7月6日 から 平成25年3月31日 まで

事業内容

- 1)これまで国内外で行われてきた認知症者および家族への対応等の情報収集・分析
- 2)アセスメント訪問における必要な情報・アセスメントツールの開発
- 3)開発されたアセスメントツールの妥当性・信頼性の分析(モデル実践)
- 4)認知症早期における本人及び家族の支援方法、内容の可視化
- 5)初期集中支援チームのサービスモデルの標準化
- 6)専門家チーム員の質の確保に向けたカリキュラムの開発

事業の効果及び活用方法

在宅生活の維持、費用対効果等について明らかにし、我が国の先駆的実践事例の状況を踏まえ、我が国の今後の認知症初期介入のあり方を明らかにするとともに、ツール等の開発を進め、当該サービスの普及基盤の整備に寄与する。

1 アセスメントツール検討委員会

- ①DASC方式、行動観察方式(生活支援アンケート)、イギリス等各種アセスメントの特徴を検討し、モデル実践結果をもとに、アセスメント方式の提示を行う。
- ②提示するアセスメントツールの信頼性、妥当性を検証する。

2 初期集中支援チーム検討委員会

- ①チーム員会議の進め方、記録様式作成
- ②認知症初期における本人・家族の支援方法・内容の可視化
- ③かかりつけ医・専門医等との情報共有と連携方法及び使用様式作成
- ④初期集中支援チームのサービスモデルの標準化
- ⑤チーム員の質の確保に向けた研修カリキュラムの開発

次年度
25年度モデル事業実施者への
研修実施

